



織布運転技能実習評価 専門級 学科試験問題

専門知識： 仕上工程

1. 次の文で正しいものには○、誤っているものには×で答えよ（30点）。

- (1) 仕上工程は織物生産工程の最初の工程である。
- (2) 仕上げの検査工程は、織物の欠点だけを検査する工程である。
- (3) 修正できるような欠点は、前工程に連絡する必要はない。
- (4) 織物の素材や用途によって検査基準は多少違う。
- (5) 検査速度は生産量に合わせて設定する。
- (6) 折畳みの重要な作業項目の一つに測長がある。
- (7) 出荷先が同一場所なら、品質の異なる織物も一緒に梱包する。
- (8) 織物の等級格付けは、検査員が自分の基準で判断する。
- (9) 仕掛品種に大きな違いがなければ、検反時の品番確認は省略する。
- (10) 折畳みでは、反物の端を揃えるように注意する。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	×	×	○	×	○	×	×	×	○

2. 次の文の()の中のどちらかを選んで、①または②で答えよ（30点）。

- (1) 仕上げは製織工程の(①生産増 ②品質向上)に必要な重要な工程である。
- (2) 緯方向欠点で1点罰点とは、(①2.5cm以下 ②12.5cm以下)の大きさの欠点である。
- (3) 折畳み機のクロスガイダーは、布の(①左右 ②前後)の振れを補正するためにある。
- (4) 主な製品出荷の形状は折畳みと(①板巻き ②ロール巻き)がある。
- (5) 織込まれた異物除去には(①ハサミ ②ニッパー)を使用する。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
②	①	①	②	②